

社員の皆様へのメッセージ

稻垣鉄工所設立から70年目にあたる

今年、本社を含め国内外グループ会社7社、社員数800名の全社全社員一丸となつて新たな挑戦を始める決意をしました。

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2021.7
No.335

イナテック創立70周年にあたり

1951年6月16日、株式会社イナテックの前身である稻垣鉄工所が誕生しました。

戦後の動乱期、生死をかけた戦争を体験し、生きていることへの感謝の証として、社会に恩返ししたいという思いを胸に、創業者の稻垣 邦松（現、株式会社イナテック会長）が最初に手掛けたのは井戸の「水くみポンプの切削加工」でした。その後、現在のビジネスの柱である自動車用オートマティックトランスミッション部品の生産を開始し現在に至っています。この間、数多くの取引先様、仕入先様、社員の皆さんに支えられてきました。

今年、本社を含め国内外グループ会社7社、社員数800名の全社全社員一丸となつて新たな挑戦を始める決意をしました。この1月から組織体制を整え、イナテックの強みである加工点技術と社員の団結力を活かし、既存ビジネスをさらに深化させ新たなビジネス創造へのチャレンジを始めています。

創業者 稲垣 邦松会長の思いを引き継ぎ、OB社員の方々をはじめ、お世話になった皆様への感謝を忘れず、企業理念である「確かな技術と磨かれた心で社会に貢献」をもとにイナテックグループをより輝かせ、社員の皆さんのが成長し、いつまでも安心して働くことのできる場を提供してまいります。

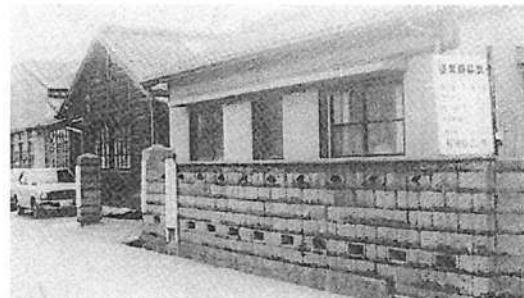
今後ともどうぞよろしくお願いします。



稻垣 邦松会長



稻垣 邦松会長 稲垣 良次社長



当時の平坂工場

イナテックグループ設立の歴史

オアシスカンントリー(1972年設立)

株式会社オアシスカンントリーは、イナテックグループの中でも最も早く設立された会社です。元々、オアシスカンントリーの地は日本が高度成長の真っ只中、当時のアイシン・ワ

ーナー様(現 アイシン様)の急成長を予測して安城市和泉町にイナテックの工場用地として11,000平方メートルを購入されたものです。しかし10年間思うように売り上げが伸びず工場建設に至りませんでした。そのような時、邦松会長はアイシン精機で開催された経営学者であり、名古屋大学の名誉教授であられた末松玄六氏の公演を拝聴いたしました。テーマはバーネン経営の薦めでした。「バーン経営」とは今からの時代を生き抜くにはいろいろな業種に関わる多角経営が経営戦略として必要。

という内容でした。

会長は独特的の経営観で「これからゴルフブームの時代が到来する」と閃き、ゴルフ練習場として土地を有効活用することを思いつき実行されたのです。

当時、180ヤードの長い距離を持つゴルフ練習場は珍しく、しかもミニコースも作り手軽で安価で楽しめ、1階には喫茶店、2階には麻雀クラブも兼ね備えた憩いの場所「オアシス」を開業いたしました。

その後1986年に打席の向きを変更し現在の姿となっています。その時できた空きスペースは飲食店への賃貸、写真のプリントショップの経営、和泉工場の鋳造木型作成場所として賃貸するなど、常に空きスペースの有効利用を考えました。

現在は支配人の他は全てアルバイトさんで運営していますが、「年中無休365日、24時間営業」の戦略も功を奏し夜勤、時差のあるお客様にも大変喜ばれています。今では近隣の皆様のみならず豊田、岡崎方面からも多数来場され、お客様に愛されるゴルフ練習場に成長しました。

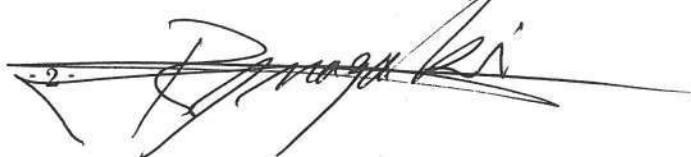
幾多の困難を乗り越え、来年は創業50周年を迎えることになります。今後も地域の皆様に愛される練習場に進化させていきます。

菜根譚後集

六六

心地上無風濤、隨在、皆青山綠樹。性天中有化育、觸處、見魚躍鳶飛。

この心の上に波風さえ立てなければ、どこにいても、(心は動搖せず)、いつも青い山々や緑の木々に囲まれた心境になれる。また、この本性の中に万物を生育するはたらきを自覚すれば、どこででも、魚躍りとび飛ぶの活潑な生意を見ることができる。



-2-

社員の皆様へのメッセージ

代表取締役社長 稲垣 良次 2021.8
株式会社 イナテック
No.336

イナテックグループ設立の歴史

株式会社ツールワン(1986年設立)

ツールワンのルーツは、"橋本商工"様と

の出会いから始まります。切削加工屋のイナテックとなぜ工具商社の橋本商工様かと申しますと、邦松会長は当時「大東通商」の社長を兼任してみました。

"額田郡幸田町の橋本商工様が経営難に陥っている"という話を工具商社繋がりで耳にし、義理人情に熱い邦松会長は、『よし俺が經營を再建しよう』と一念発起して受け背負うことになりました。出資し、イナテック社員も出向し、工具商社の經營に乗り出しました。

その時、当時の社長である橋本氏は責任を取つて会社を去られました。そこで、社名を幸田町の大東通商という意味を込めて「広田大東」(大東通商様とは資本関係はありませんでした)と命名されました。そして、なぜ"幸田"ではなく"広田"なのか、ですが、邦松会長が当時橋本商工様に出社していた頃、渡っていた川が、"広田川"だったのです。(現、矢作古川の近くに流れています)これが『広田大東』の誕生ルーツです。

しかし、どの工具商社さんも値下げ競争が厳しく、イナテックを第一のお客様として取り込んでも利益改善が大変難しく、一時期は極秘でM&Aを考えたこともありました。

そこで、イナテックの本多常務を投入し、経営戦略を180度転換することにしました。その経営戦略とは、「値引き合戦からの脱却、"工具の定価販売"」という企画でした。

勿論、工具の定価販売だけでは勝てるわけがありません。そこにイナテック

の強みである「切削加工の改善技術」という付加価値をつけることで他社との差別化を図ったわけです。

この戦略を実現するために営業担当者は切削加工技術を教え込み、営業担当者自らが「不良低減」「寿命延長」「他社工具提案」などの改善提案を合わせた販売をするようになりました。

これにより、お客様が工具を定価で購入してもそれ以上のメリット(利益)が出るということを実感していただけたようになります。このような「最適工具の選定」という提案型営業を続けていく中でお客様から信頼を得るようになり、経営も徐々に好転してきました。

それと同時に世間では社名の文字面から"広田大東って中国系の会社?"とか"何やつてる会社?"という質問を受け苦労していました。

このため、わかりやすい社名を、ということで2009年にシンプルでビジネス

モデルをそのままに現在の株式会社ツールワンに社名を変更したわけです。

株式会社ツールワンは、今年で創立35周年を迎えます。社員数は10名にも満たない会社ですが、イナテックグループ企業の中で唯一無借金の会社です。更にどんな不況でも必ず利益を出し、営業利益率も常に10%以上を確保する少数精銳企業です。

今後も創意工夫を重ね、他社との差別化を図りイナテックグループへの貢献を続けていきます。

菜根譚後集

六七

峩冠大帶之士、一旦、睹輕箋小笠飄然逸也、未必不動其咨嗟。長庭廣席之豪、一旦、遇疎簾淨几悠悠焉靜也、未必不增其戀。人奈何、驅以火牛、誘以風馬、而不思自適其性哉。

高い冠に幅広い帯をつけた礼装の士人も、ふと、軽いみのに小さなかさをつけた微服の漁夫や

農夫たちが、いかにも気楽に過ごしているのを見て、(気苦労の絶えないわが身と比較して)、うらやましいと思わないでもなかろう。また、豪華なじゅうたんの上で暮らしている富豪も、ふと、竹すだれの下で小さげいな机に向かって読書している人が、いかにも悠然として静かに過ごしているのを見て、(気苦労の絶えないわが身と比較して)、慕わしい気持を起こさないでもなかろう。それにもかかわらず、世人はどうして、尻尾に火をつけた牛を駆り立てるように、また、さかりのついた馬を誘い寄せるように、(功名富貴を求めるに血まなこで)、そうしてばかりいて、自分の本性にかなった悠々自適の生活をすることを思わないであろうか。

-2-



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2021. 9

No.337

実はイナテックはAW様が米国に進出の際に、一緒に進出しないかとお声を掛けて頂いた経緯がありました。

しかし、イナテックは1989年に米津町から幡豆町に本社工場を移転し、さらに本社工場は第2工場、第3工場と増築を実行している最中でした。米国進出は、資金と人財難で、あまりにもリスクが多く、大変残念ではありましたが、辞退いたしました。AW協力会の他社様が米国進出をされるのを横目に苦笑を舐めた次第です。

しかしその後、中国進出の企画の話を頂いた時には、ここまでイナテックを育てて頂いたAW様に必ず恩返しをしなければいけないと想い、進出の決断をしたわけです。イナテック平湖設立にあたっては、工場立地について本多常務始め初代新家総經理にも東奔西走して頂き、上海浦東国際空港から90分、AW蘇州様へも90分で移動可能な浙江省平湖市に進出を決めました。

日本から投資した資金もイナテック平湖の皆さんの努力のおかげで配当金として還元して頂いています。さらにイナテック平湖は、現地の人だけで日本の経営を運営する中国企業へと移管しつつあります。現在中国国内だけでも14億人のマーケットが

頂いたり、海外進出経験豊かで中国でのビジネスも明るい岡谷鋼機株式会社様にも資本提携を頂き、貴重なアドバイスをいただきながら無事2011年に創立、創業することができました。

設立当初から現在に至るまで、活躍して

イナテックグループ設立の歴史 稻垣汽車配件(平湖)有限公司

(2011年設立)

稻垣汽車配件(平湖)有限公司(以下、イナテック平湖)は、当時のアイシン・エイ・ダブリュ株式会社様(現、株式会社アイシン様、以下 AW様)が中国モータリゼーション市場へ本格的な進出に合わせ、イナテックもお客様の意をくみ同時に進出し、AW様と中国での新会社設立の苦労と共にさせて頂こうと考え、設立を決断しました。AW様は、中国進出より先に米国ノースカロライナ州へすでに進出済みで、次は中國13億人(当時)という巨大な市場への挑戦であったわけです。

イナテック平湖進出にあたり平湖經濟開発区の職員の方にたくさんの便宜を図つて

あります。そのマーケットをターゲットに
増々発展してくれると期待しております。

最後に、設立当初、イナテックから出向
して頂いたイナテック社員の方々の協力が
あって、そ今のイナテック平湖が存在してい
ることを忘れてはなりません。初代新家昌
美総経理、2代目稻垣現総経理、3代目
鈴木俊守総経理と素晴らしい経営手腕を
発揮して頂き大変ありがとうございました。

次の総経理は、中国現地の社員が務めて
頂き、イナテック本社は株主として支援を
させて頂ける日を夢見てやみません。

イナテックグループの発展を祈ります。

菜根譚後集

六八

魚得水逝、而相忘乎水、鳥乘風飛、而不知有風。識此、可以超物累、可以樂天機。

魚は水を得て泳ぎまわり、いかにも自由で、水のあることも忘れているし、鳥は風に乗って飛
びまわり、いかにも自在で、風のあることも忘れている。人もこの道理を悟れば、(世の中を泳
ぎまわり飛びまわって、しかも世の中を忘れる事ができれば)、外物に煩わされることから超
越することもでき、自然の妙なるはたらきを楽しむことができるであろう。



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2021. 10

No.338

株式会社アイシン様の成長に合わせ、イナテックグループはどんどん拡大し成長していく道を走っていました。そして、人員が増えたことにより、障害者雇用促進法につとり、障がい者雇用をする義務が発生していました。

ここで、私が考える障がい者雇用についての話をいたします。私は、障がい者の人たちと、障がい者を見守り育てるスタッフの方々からたくさんのこと学ばさせていただきました。

イナテックグループ設立の歴史

株式会社イナテックサービス

(2016年設立)

イナテックサービスは障がい者の方々に、社会的自立のできる環境を整え、成長していただくよう支援をする会社です。

当時のイナテックは障がい者雇用をしなかつたため、そのペナルティとして雇用調整納付金(※1)を納めなければならず、人員が増えるごとにどんどん多額になっていきました。本当にこのままでイナテックグループは社会に貢献できているのだろうかと、常に疑問を抱いておりました。

ある時、別会社を興し工場周りの整備や社内での間接業務を切り出しすれば、障がい者の人たちの仕事ができ、障がい者複雑な判断力が必要なので、以前の私はとても“障がい者を雇用する”という発想になりました。

それが今ではイナテックサービスという特例子会社を設立するまでに至っています。どの様な変化があつたのか、この後ご紹介していきます。

イナテックの現場は精密切削工作機械を扱っているので、危険が伴います。また、複雑な判断力が必要なので、以前の私はどちらくよう支援をする会社です。

そこで、障がい者の人を必要以上にかまわず、障がい者の学生さんも胸をはつて堂々と議論しているではないですか。すべてが自然でした。

今まで「そインクルーシブ教育システムの構築(※2)、共生社会(※3)が文部科学省から推進されていますが、私たちはまさしく

くアメリカで「誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える共生社会」を目撃したのです。

日本ではややもすれば支援学級を作つたり、特別支援学校を設立したり、とにかく特別扱い。その実情を見ていただけに感動とショックを覚えました。

アメリカ・カナダの旅から、私たちの障がい者雇用に対する見方が変わったわけです。日本でも障がいの方々の自立支援ができるのだ、そして健常者の方々と議論をしたり、仕事のできる環境を創りたい。必ずできるはずだと思うようになったわけです。

海外では“障がい”は「強い個性」と考えるようです。だから、障がいを個性と観ることによつてその個性を伸ばしてあげる視点、それが結果として障がいを持つている人の社会自立をサポートできる事につながる。そういう事が実現できるイナテックグループで在りたいということに繋がったわけです。

それでは、イナテックサービスの特例子会社設立の経緯についてお話をします。

イナテックグループでもちようどイナテック鳥取ができた時期でした。

障がい者雇用は、別の会社であれば例え子会社であつたとしても、申請をしなければ、それぞれの場所で障がい者の雇用をしていかなければなりません。イナテックグループ全体での障がい者雇用が適用できれば、それぞれの場所でなくとも、障がいがある人にあつた仕事を1か所で切り出して提供できます。

どうしたら、そんな仕組みができるのか、大橋部長とサービスのスタッフの挑戦が始まりました。雇用について調べるうちに、“特例子会社”という仕組があることを知りました。

特例子会社とは、障がい者の雇用促進と安定のため、雇用にあたつて特別な配慮をする子会社のこと。認定を受ければ親会社およびグループ全体の障がい者雇用分として実雇用率を算定することができます。

す。イナテックサービスを特例子会社へ、という道筋ができた瞬間でした。

基本的には特例子会社は大手上場企業の会社が設立することが多く、中小企業が設立することは大変稀なケースです。大橋部長を中心に、設立に向けて仕組み、環境、書類を整え：ついに厚生労働省に認定されました。“特例子会社”的設立は西尾市では初めての認定でした。西尾公共職業安定所からは感謝状をいたぐほどの快挙でした。

イナテックグループも工場のメンテナンスや総務系の仕事も多くなり、大変な状況の中、イナテックサービスの役割は重要なになっております。現在、イナテックサービスは障がいの方をチャレンジドと呼び、SDGsの取り組みの一環として、ごみの分別作業やエコロジーに配慮した廃油リターン装置等、社会に対する責任を果たす企業としての活動に率先して取り組んでおりま

このような日々の活動が評価され、今年9月に厚生労働省から、愛知県内で6番目、西尾市初となる「もにす認定」(※4)を受けることができました。

私共はイナテックサービスを「小さく生んでしつかり育てるのだ」を合言葉に今後とも頑張っていきます。

※1 雇用調整納付金

障害者を雇用するには、作業施設や設備の改善、職場環境の整備、特別の雇用管理等などの経済的負担が伴います。障害者雇用納付金制度は、障害者を雇用することは事業主が共同して果たしていくべき責任であるとの社会連帯責任の理念に立って作られた制度です。雇用調整納付金は、障害者の法定雇用率(現在は2.3%)未達成企業に対して、1名の障害者雇用不足分に対して月額5万円の金額が徴収されます。

※2 インクルーシブ教育システムの構築
障害のある者と障害のない者が可能な限り共に学ぶ仕組み

※3 共生社会
障害者が積極的に参加・貢献できる社会＝共生社会の実現は、様々な人々が生き生きと活躍できる社会の実現であり、国民全体にとって有益である(※1～3 障害者雇用率制度より)

※4 もにす認定
障害者の雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度(厚生労働省HPより)

狐眠敗砌、兔走荒臺、盡是當年歌舞之地。露冷黃花、煙迷衰草、悉屬舊時爭戰之場。盛衰何常、強弱安在。念此，令人心灰。

きつねは壊れたきさはしの上で眠つており、うさぎは荒れ果てた高殿を走りまわつてゐる。(全く荒涼たる光景であるが)、このあたりこそ、その昔、はなやかな宮女が歌い舞つた宮殿のあつた所である。また、露が冷ややかに菊の花におき、霧が枯れ草の上にさまつてゐる。(まことに物寂しい景色であるが)、このあたりこそ、その昔、英雄たちが争い戦つた古戦場である。(このようなすがたを見ると)、人の世の栄枯盛衰など、(全くはかない一場の夢であつて)、長く続くものではないし、その昔の強者も弱者も、(すべて亡んでその姿を見ることもできない今)、一体、どこにいるのであろうか。これらのことと思い浮かべると、人の心を冷えきつた灰のように味けなくさせる。

菜根譚後集

六九



社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2021. 11
No.339

イナテックグループ設立の歴史 株式会社イナテック鳥取

(2015年設立)

今から6年前、AW様(現アイシン様)がオ

ートマチックトランスマッション総生産台数
1000万台／年～1200万台／年の準備構想を練っていました。生産実績で8

00万台／年の時代です。イナテックとの大幅な増産構想に追従できるよう、必死にレンタル工場を探したり、ライン再編をすることで、何としても1000万台／年体制を構築しようと活動していました。なぜならば、イナテックが生産数量対応が出来なければ、その部品を他社に転注されることになるからです。対応できない量のみならまだ良いのですが、ビジネスですからそんな甘いものではありません。イナテック

クの部品が他社に流れることになれば堰を切ったようにシェアを奪われるのは目に見えています。AW様にとつても見知らぬ仕入先に発注するよりも、創業より苦楽と共に進んできた協力会メーカーに発注したいと考えるのは百も承知です。そのような環境の中で大規模生産リソースが必要と考え、実行に向け検討を始めました。

たまたま私の知り合いが島根県の益田市に進出した事もあり、色々と山陰地方の進出支援状況を伺いましたので、検討することにしました。

まずは、山陰の鳥取を皮切りに出発し島根県の益田市まで十数か所の工業団地を視察しました。その都度、県知事や各市町村の首長の方の配慮に感謝するとともに、大変勉強になりました。

- 三 大雨になつても5本の輸送ルートが確保できる
- 四 優秀な人財が豊富

これらの条件が明確になつた時点で即、平井知事に進出を決断した旨をお伝えし、進出が決定となりました。

他の候補地としては、土地代金無し電気使用料金10年間無料、補助金30%等々、好条件は揃つてきましたが前述の四

と地域柄、優秀で真面目な人財の宝庫であることが、鳥取・島根に工場進出を決断されたようです。

最終的に、鳥取市河原町を選んだのは鳥取県庁職員の素晴らしい営業力と平井知事を始めとするすごいスピード決断でした。その決断とは「一週間で河原町のグランドをイナテックに提供出来るようにする」という提案でした。さすがに私も度肝を抜かれ、「3日間時間を下さい」と返事をいたしました。その3日間の中でのイナテックの営業部隊を総動員して、「仮称 河原工場用地」の条件を整理して頂きました。

- 一 本社から車で4時間半で移動可能
- 二 東海地震があつても鳥取とは同時被災はない

つの条件に当てはまつたのは鳥取市だけだったのです。ちなみに協力会の他メーカーは、工場増設や新拠点へ進出をされ、リーマンショックで苦労した会社や、米中摩擦の影響を受ける時期に進出を決断された会社は惨憺たる結果に終わっている会社も多いと聞いています。

つまりイナテック鳥取の進出はラストチャンスで絶妙なタイミングだったということです。

これらも、イナテックグループ社員の皆さんによる日頃の頑張りが幸運を呼び込んでと言えると思っております。これからEV・HV・FCVの時代はすぐそこにやって来ます。本社・米津・西尾東・イナテック平湖・イナテック鳥取という資産を十分活用転換すれば80周年100周年は無事迎えられると計算しております。

株式会社イナテックホールディングス (2016年設立)

イナテックホールディングスの設立の目的は「イナテックの事業継続」です。一般的に

中小企業の株式は株券発行もせず、一般（市場）に売却することも出来ません。イナテックでも同様です。社員の皆さんのが一所懸命頑張って営業利益を出せば出すほどイナテックの株代金額は値上がりしていくますが、その株式は売却できません（日本のルール）。

その株式をイナガキファミリーは継承していくしかなければならないのです。社員の皆さんが頑張れば頑張る程、イナガキファミ

リーは個人で相続の為に何億円、何十億

円の借金をしてそれを個人で返済していく。このパターンを邦松会長から私が引継ぎ、借錢しながら自分の給与から支払い続けて今があるわけです。私までは良いのですが、次世代の子供、孫に個人で何億円という借金をして株式が承継できるとはとても思えませんでした。

イナガキファミリーの株式が承継できなくなるということは、イナテックが存続出来ないことを意味します。イナテックの目的(基本的な考え方)は、イナテックの企業

理念で申し上げている『イナテック社員の質的生活の向上・家族の幸福』です。イナガキファミリーの株式が円滑に承継出来て始めて“イナテック社員の幸福”が得られるものです。

イナテックホールディングスを設立することによって株式を変換し『資本と資産管理会社』を設立することによって株価を世間の常識の範囲内で運営出来るようになります。

もちろんイナガキファミリーのガバナンスはしっかりと学び続けファミリールールを作成し、トラブルのない管理をしてまいります。将来的には「社外取締役制度」を導入し、いつどこから監査して頂いても良いイナガキファミリーを構築していきます。

これからも、イナテックグループ社員の皆さんのが頑張れば頑張る程、良い会社になる仕組みを創っていきます。そして「イナテックグループ社員の皆さんのが家族の方々の幸福」の実現に向かって一生修養いたします。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2021. 12
No.340

のキャリア人財の方々の力を借りて、プロペラ人財の人々がそのマネジメント力を学ぶことにあるのです。

そして、5年先、10年先にはイナテックのプロパーの人たちにイナテックグループを経営して頂きたいのです。

2021年皆様ありがとうございます

早いもので、もう2021年が終わろうとしています。

イナテックの業績としては、コロナ禍に翻弄され、さらに自動車業界は半導体不足の直撃を受け、増減産の激しい大変な一年でした。そして、その影響はここ数年続くとも言われております。

ですのでイナテックグループとしては減産に強い、減産でも赤字にしない体制と体质の強化が必要です。そのためには、日々の数字(金額)に強くなり、日々管理できる人財の育成が重要なのです。

2021年はキャリア人財の方々を多く採用させて頂きました。それはまさしく今までのイナテックの弱い(ex. 減産時マネジメント)能力を補強するものであります。そ

決して楽ではない自動車業界

自動車業界において、とり分けガソリンエンジン車の割合が2030年には40%まで落ち込み、EV・FCVが60%を占めるという試算が政府からも出されています。

イナテックの主要製品のA/T(オートマチックトランスミッション)も、ほぼ同じ変遷をたどるとしております。しかし、イナ

テックグループにはまだ時間があります。

2024年までの3年間で、

- 既存事業の原価低減による収益力・競争力の向上

- 電動車・試作小ロット分野などの新規事業の拡大

を実行し、2031年のイナテック80周年には年商230億円、営業利益8%をたた

き出せる企業へ変身させますので、皆さん宜しくお願ひいたします。

イナテックグループのすごいところ!

イナテックグループのすごいところは、量産事業では月産300万個の製品を不良品もなく(不良率0.2PPM)作る品質保証に裏打ちされた自動車部品製造技術があることです。

次に、試作・小ロット事業では開発技術を持つていることです。現在のお客様としてはアイシン様、岡谷鋼機様、いすゞ自動車様、マツダ様、武藏精密様、ツガミ様、I-J-TT様、日産自動車様等お取引をさせて頂いております。このメーカー様の製品の中では電気自動車の歯車に関するものも多くあります。また工作機械で東証一部上場されてみえるツガミ様もこれからのイナテックにとって非自動車部門での大切なお客様でもあります。

そして、もう一つのイナテックグループのすごい強みとしては、アルミ・マグネの鋳造一貫メーカーとしての位置づけです。製品としては、これからDXとして欠くことの出

来ない『協働ロボット(アナツク様)』です。また、洋上風力部品のトップメーカーの三菱電機様や、電動車の中のケースにマグネシウムを利用されようとしている東海理化様もこれからの大切なお客様であります。

以上のようなイナテックグループの『すごい技術』を『盾と矛』として戦略化し、2024年までに体制が確立できれば、生き残れる勝算は十分にあります。

さあ皆で頑張りましょう。

今年一年大変ありがとうございました。

菜根譚後集

七一

* 晴空朗月、何天不可翱翔、而飛蛾獨投夜燭。清泉綠卉、何物不可飲啄、而鷗鷺偏嗜腐鼠。噫世之不爲飛蛾鷗鳥者、幾何人哉。

晴れた空に明るい月が出て、この広々とした大空はどこでも自由自在に飛びまわれるのに、飛んで火に入る蛾ばかりは、ことさらに我から燈火に身を投じて焼け死んでいる。また、清らかな泉が流れ緑の草が生えて、飲むもの、ついぱむものがいろいろとあるのに、いかもの食いのふくろばかりは、わざわざ腐ったねずみの肉だけを好んで食べている。ああ、世間には、この蛾やふくろのような真似をしていない者が、一体、幾人あるであろうか。

